

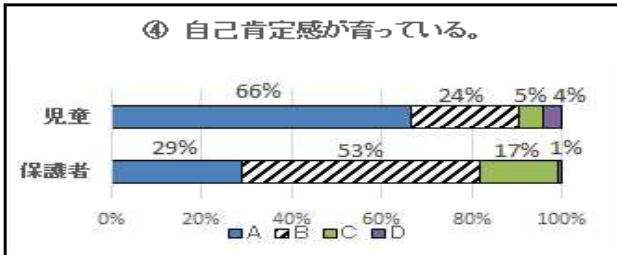
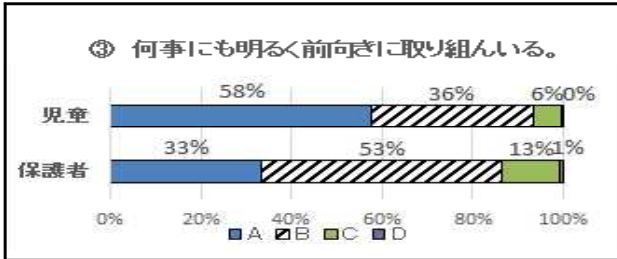
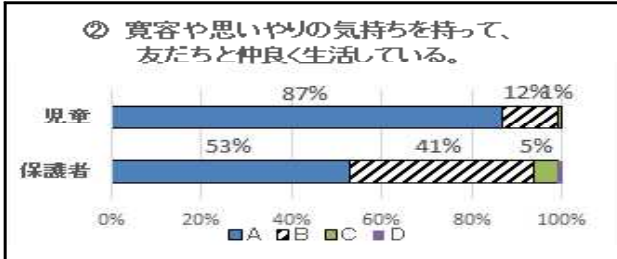
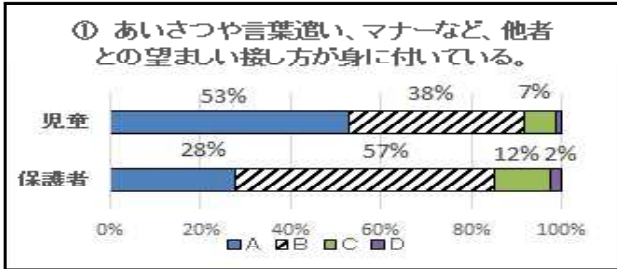
## ◇児童・保護者アンケートの結果について◇

過日実施しましたアンケートの結果についてお知らせします。今後、この結果をもとに改善策等を検討し、教育活動に生かしていきます。また、記入していただいた貴重なご意見も参考にさせていただきます。これからの教育活動に役立てていきたいと思っております。保護者の皆様のご協力、大変ありがとうございました。

実施時期：令和3年12月 回答数：保護者98.6% 児童100%

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない (注) %の合計は、四捨五入のため100%にならないものもあります。

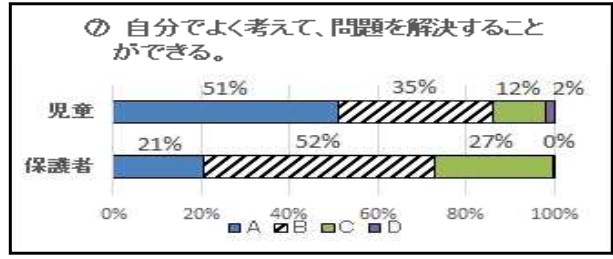
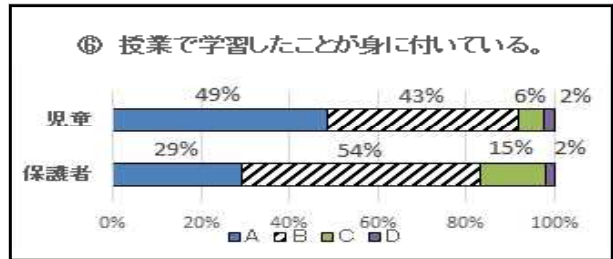
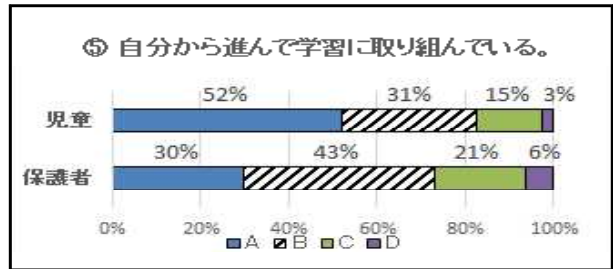
### ◆心豊かな子の育成



質問①あいさつについて、児童・保護者ともに8割以上「あてはまる」と回答しています。「よくあてはまる」と回答している児童も50%を超えています。保護者は28%と差があります。登校時のあいさつができない、もう少し大きな声でできるとよいとのご意見がありました。今年度も3A運動を実施し、「あいさつのできる子」を目指し、「**おうちであいさつ運動**」にも取り組んできました。あいさつは、基本的な生活習慣の中で最も大切なものの一つで、社会生活の第一歩です。今後も意識を高め、「いつでもどこでも、明るいあいさつができるように」力を入れていきます。

質問④「自分にはよいところがある」と児童の自信が育ってきています。自分に自信をもち自分を大切にできると、真に友達や周りの人を思いやることができます。家庭と連携して自己肯定感を育てていきたいと思っております。

### ◆進んで学ぶ子の育成



質問⑤「自分から進んで学習に取り組んでいる」では、83%の児童があてはまると回答しています。昨年は89%でしたので、少し減りましたが、保護者は73%で昨年より1割増え、児童と保護者の差が小さくなりました。児童の「よくあてはまる」は増えていますが、「あてはまらない」と答えた児童も増えたことから、取組に差が出ていることがわかります。

質問⑥は、児童・保護者とも、昨年とくらべ「あてはまる」の回答が増えています。「わかる、できる」ことは、自己肯定感が高まることにつながっていると考えられます。

質問⑤⑥⑦いずれにおいても、昨年とくらべ保護者の回答は、「よくあてはまる」が増えました。

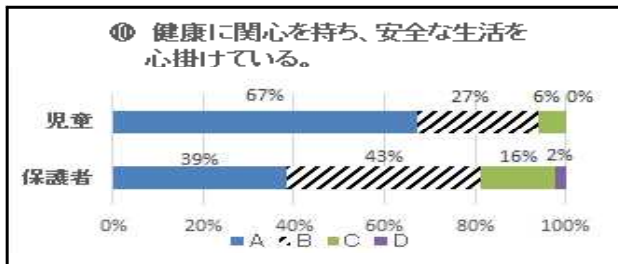
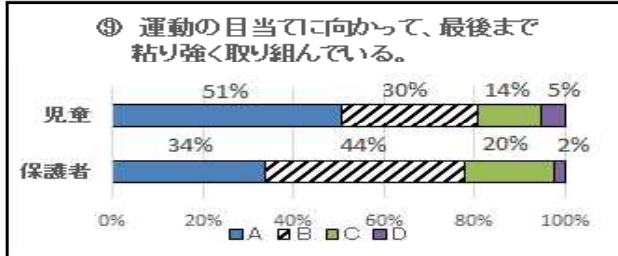
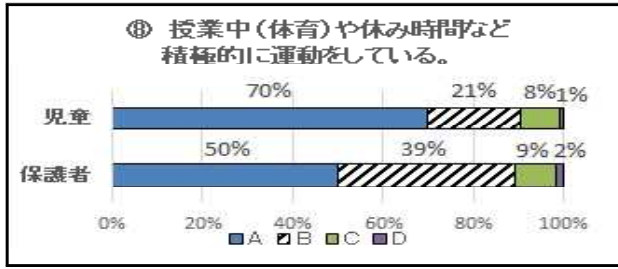
子どもたちが「がんばっている」ことを家庭で認められるのは、さらに意欲を高めることにつながります。

今後も、児童が自ら意欲をもって学習に取り組めるよう、「わかる、できる」学習指導の工夫を実践していきたいと思っております。ご家庭では、家庭学習の習慣化を図れるよう、時間の確保や環境づくりにご協力をお願いします。

授業と家庭学習がうまく関連づけられるよう指導していきたくを努めていきます。



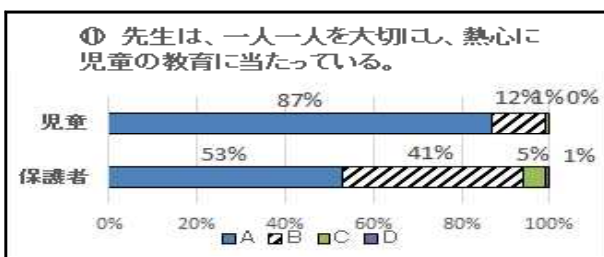
## ◆健康でたくましい子の育成



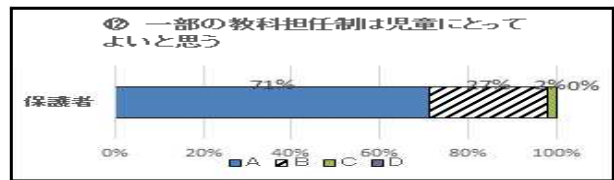
質問⑧「運動への関心」は「あてはまる」と回答した児童は昨年同様91%、保護者は89%とやや向上しました。質問⑨「粘り強さ」もほぼ昨年と同じで、運動や外遊びへの関心の高さが現れています。持久走記録会の練習に自分から取り組んだり、縄跳びが上達したりという頑張りについてご意見をいただきました。

質問⑩「健康に関心を持ち、安全な生活を心掛けている」では、「あてはまる」と回答した児童が94%と非常に高くなりました。感染症対策に子どもたちもしっかり取り組んでいます。健康や安全に注意して学校生活を送りたいという思いが伝わります。また、検温をはじめご家族揃っての健康管理へのご協力に、心より感謝申し上げます。今後も感染症予防を行いながら、心身共に健康でたくましい子の育成に努めていきます。

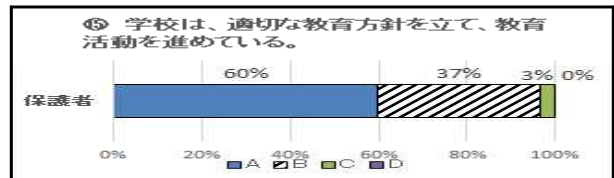
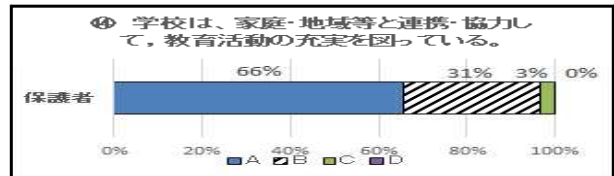
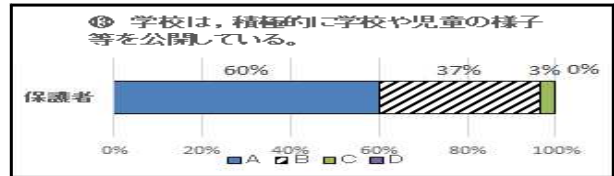
## ◆信頼される学校づくり



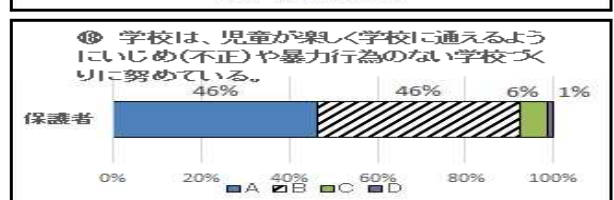
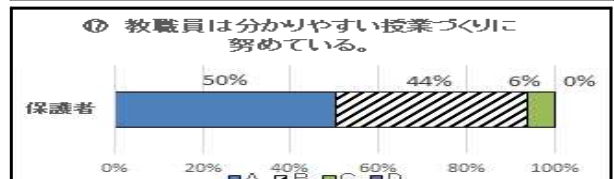
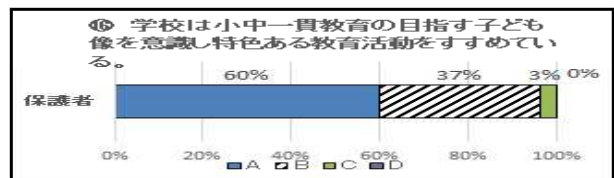
質問⑪「先生は一人一人を大切に、熱心に児童の教育に当たっている」では、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」との回答が、児童1%、保護者6%でした。この結果を真摯に受け止め、子どもたち一人一人と向き合い、信頼される教職員、学校を目指していきたいと思えます。そして、学校生活の基盤となる学級が、互いに「認め合い・励まし合い・助け合う」ことのできる温かい集団となるよう、教職員も助け合って、取り組んでいきます。今後も、ご心配やお気付きの点がございましたら、ご連絡ご相談くださるようお願いいたします。



質問⑫上学年において、一部教科担任制を実施しました。「よくあてはまる」「あてはまる」は98%でした。すべての質問項目の中で「よくあてはまる」の回答(71%)が最も高くなっています。学級数や職員構成によりますが、今後も工夫して取り入れていきたいと考えています。



質問⑬～⑮の項目については、昨年よりさらに高い評価をいただきました。今後も積極的な情報発信を継続し、家庭と地域とともに教育活動の充実を図っていききたいと思います。



質問⑯～⑱は、今年初めての質問項目でした。下野市内小中学校共通の質問です。⑰「分かりやすい授業づくり」⑱「いじめや暴力行為のない学校づくり」において、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答が目立ちます。「分かる、おもしろい授業」「当たり前が当たり前」にできる学校は、目指すべき姿であり、それが何より子どもたちの安心・安全につながるものと思います。

最後になりましたが、結果は日頃の教育活動や学校運営の評価と捉え、見直す手がかりしたいと思います。今後も児童の健全育成のため、学校・家庭・地域との連携にご理解とご協力をお願いいたします。